



2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

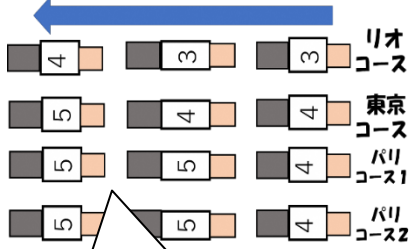

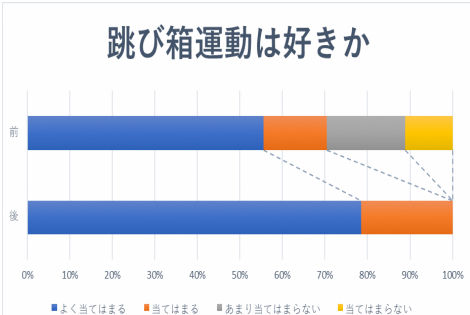
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 大牟田市立天領小学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	3年2組 24名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 体育科 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	「着手」「腰の位置」に気をつけて、開脚跳び・抱え込み跳び・台上前転をすることができる。また、学級全員で金メダルを目指すという活動の設定を行うことで、運動に進んで取り組むことができる。
5 取組内容	<p>【体育科「器械運動」 跳び箱運動】</p> <p>○ ひたる・つかむ段階 主運動につながる動きや前時のふり返りを行うことで、単元計画の確認や自己の課題の確認を行った。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>全員で技を増やし、跳び箱メダルを完成させるといふ単元のゴールを意識させる。</p> </div> </div> <p>○ 身につける・高める段階 自分の能力に応じたコース、越し方・跳び方を選ばせる活動を通して、できる技の技能を高めさせた。さらに技を身につけさせるために、自己のめあてに応じた場で練習に取り組み、跳べた際にリストバンドを手につけ五輪が完成するようにした。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>技ができたならリストバンドを着けて自分の頑張りが分かるようにする。</p> </div> </div>

	<p>○ 振り返る段階 本時までに学習した技でオリンピックコースに取り組み、自分の頑張りやペアの友達のよさに着目して振り返りをした。</p>   <p>金メダル：技 銀メダル：協力 銅メダル：片付け</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>○ オリンピックの教材化 単元を通して「全員で金メダルを作る」「オリンピックコースに挑戦」という活動を位置づけることで、誰でも取り組みやすいオリ・パラ教材になった。また、児童も「みんなで金メダルを完成させたい」「できて嬉しい」という活動の意欲や自信も高めることができた。</p> <p>○ 児童の様子から</p>  <p>リストバンドをつけることで、自分が習得した技を視覚的に見えることで、「できる」という喜びや自信を持たせることにつながった。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>単元名に「メダルを完成させよう、跳び箱オリンピック」とすることや跳び箱のコースにオリンピック・パラリンピックの会場の名前をつけることで、児童がオリ・パラに関心を持ち、主体的に活動できるようにした。また、技ができればリストバンド（五輪の五色）をつけることで、「跳べて嬉しい、跳べるようになりたい」と意欲的に活動できるようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>異質グループを作成し、自分の課題に応じて場を作り替えるようにしていたが、見取りが難しかったために、それぞれの課題に応じた場の設定をすることが必要だった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>昨年度開発した本教材を3年生の年間指導計画に位置づけ、本年度も付加・修正して取り組むことができたので、今後も継続的・発展的な学習へとつなげていきたい。また、低学年や高学年の学習にも広げていき、系統性を持って進めていきたい。</p>